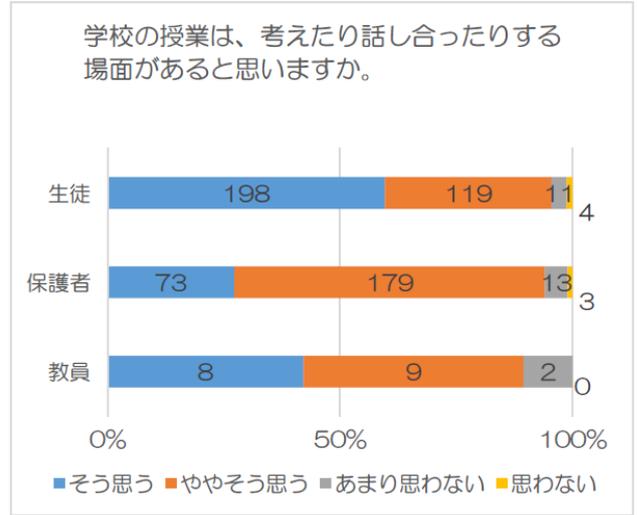
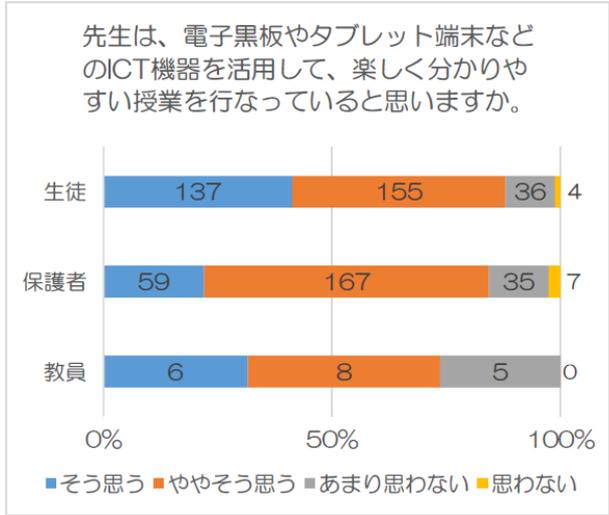


令和6年度 教育に関するアンケート「よりよい学校づくりを目指して」 集計結果

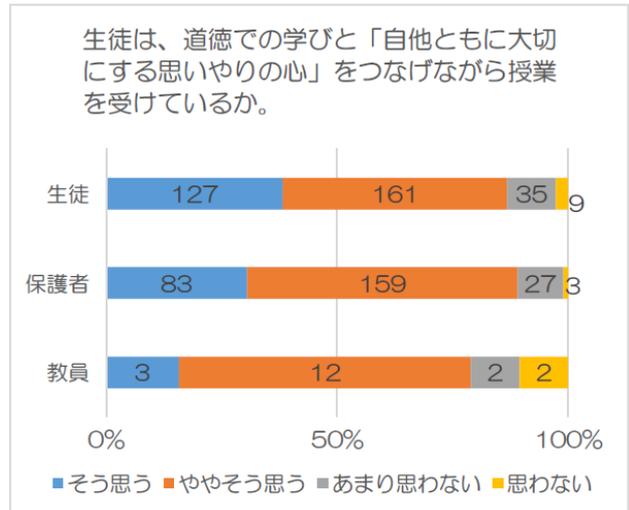
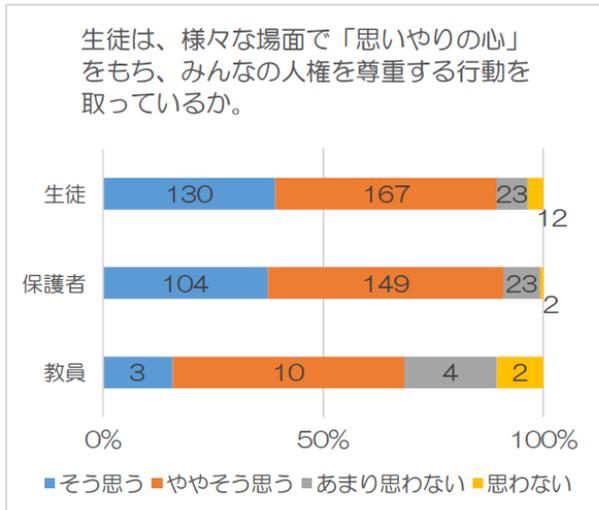
(回答数 生徒…332名 教員…20名 保護者…281名)

【学習指導について】



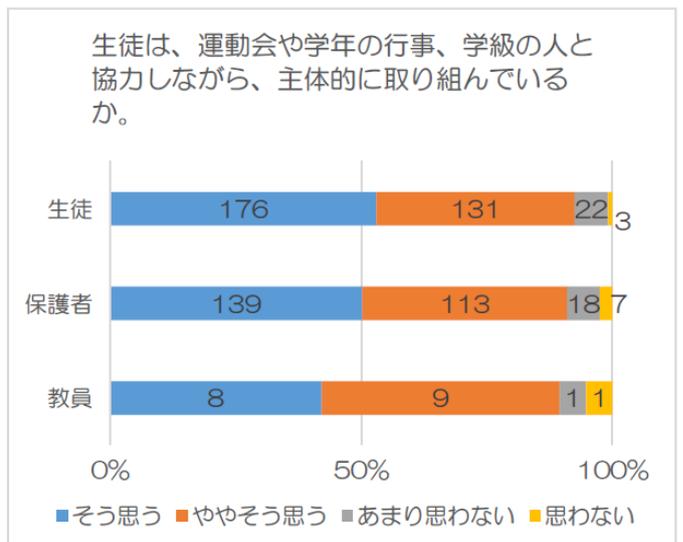
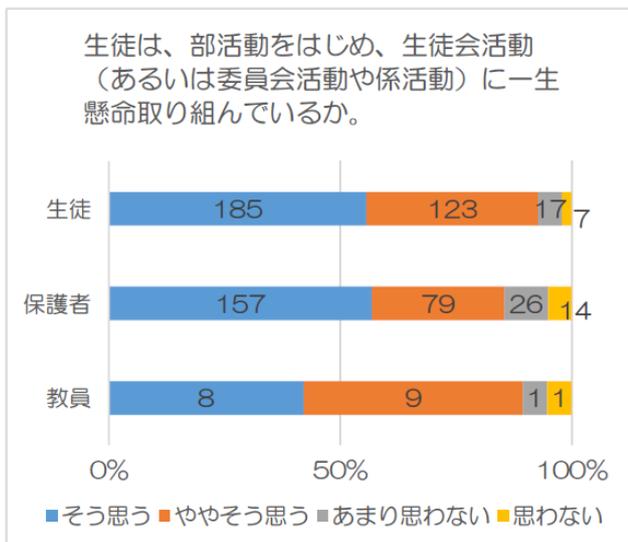
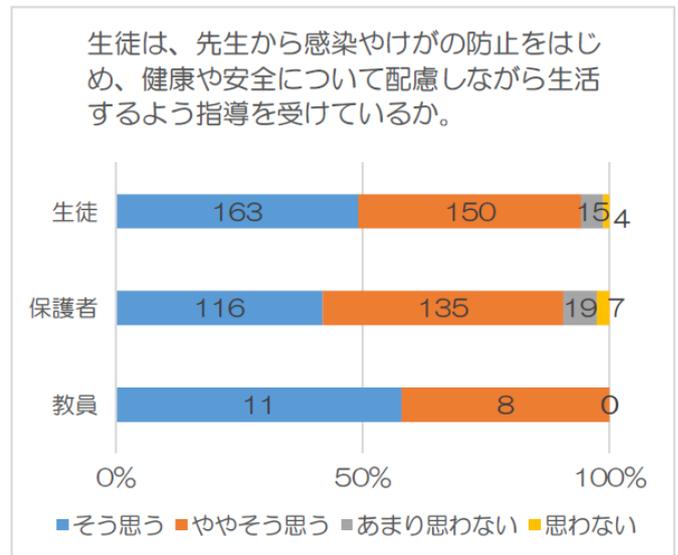
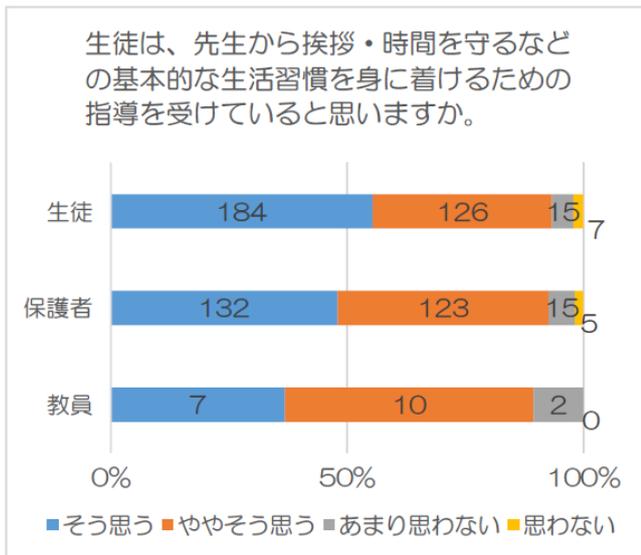
学習指導については、分かりやすい授業、考えたり話し合ったりする授業、学習評価の項目で8割以上の肯定的な回答をいただきました。今後も、目的を明確にして ICT 機器やタブレット等を活用し、話し合い活動の意図の明確化、考える分かりやすい授業を推進するという課題意識をもって授業改善を進めていきます。

【人権教育について】



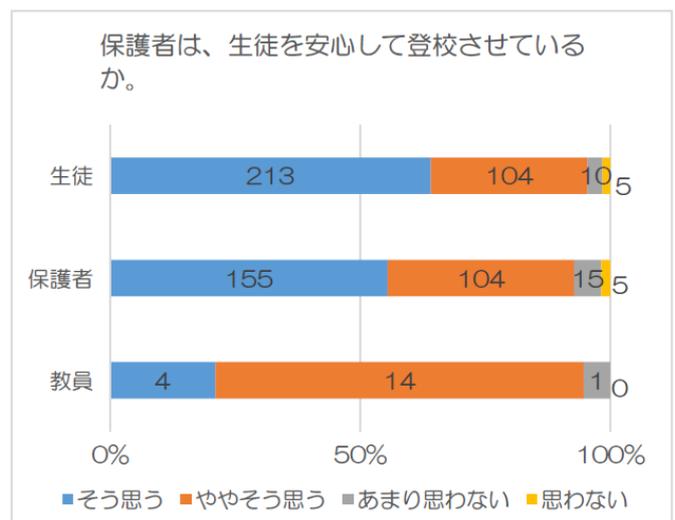
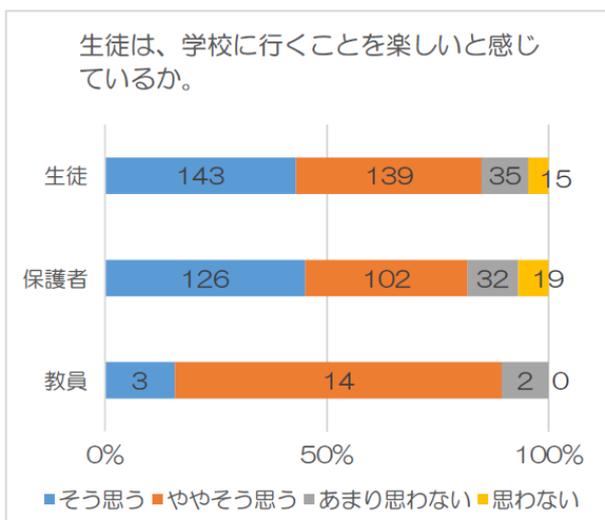
人権教育については、東京都人権尊重教育推進校として、多様性を認め合い、自己肯定感を高めるため、意図を明確にした話し合い活動を授業展開に取り入れ、約9割の肯定的な回答をいただきました。今後も学校教育全体を通して、計画的に人権教育を推進し、「共感・感謝・敬意」の気持ちを伝え合い互いの人格を尊重することで、思いやりと規範意識を育てていきます。

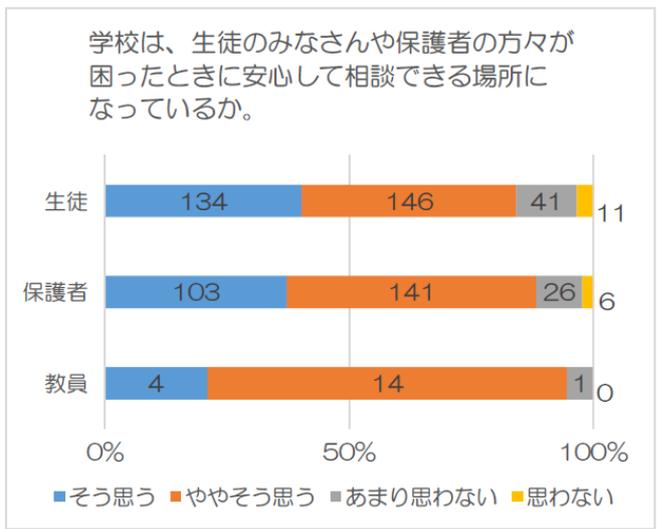
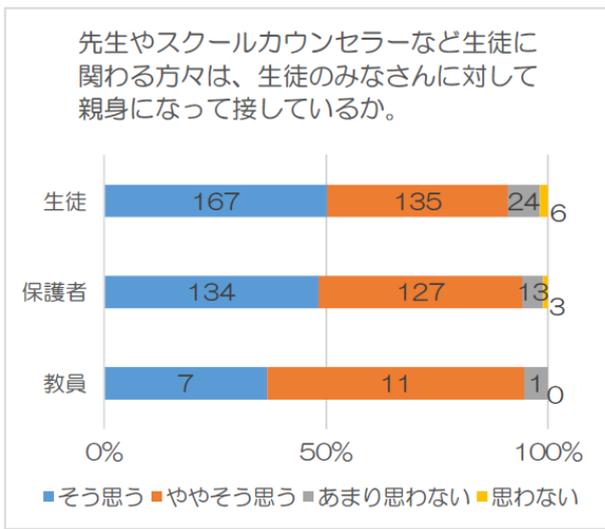
【生活指導について】



生活指導については、生徒一人一人が落ち着いて学校生活を送り、全体としては、約9割の肯定的回答をいただきました。生活のきまりを見直し、場面に応じて生徒と教員が双方向でやりとりをすることで、よりよい学校生活を送ることができるよう、生徒自身が考える機会としています。また、声かけなどを行う際に、相手に「共感・感謝・敬意」の気持ち伝えることを大切にしています。特に多様性を受容する第一歩として、「あいさつは先手必勝」を合言葉に、相手を選ばずにあいさつするということを朝礼や学校だよりなどを通じて生徒に繰り返し伝えていきます。今後は、部活動や生徒会活動の進め方について検討していきます。

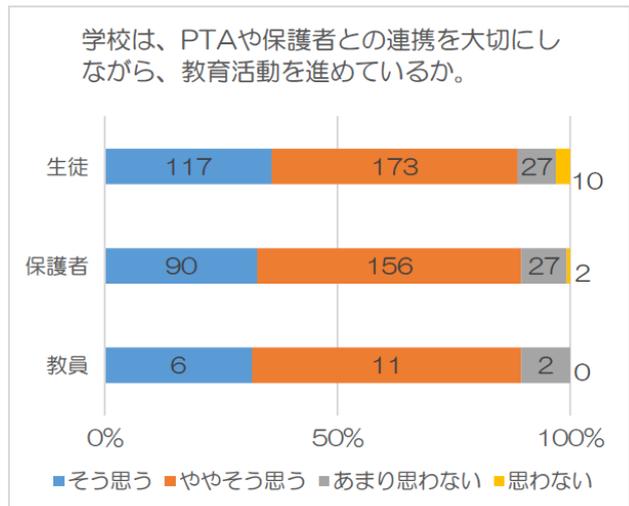
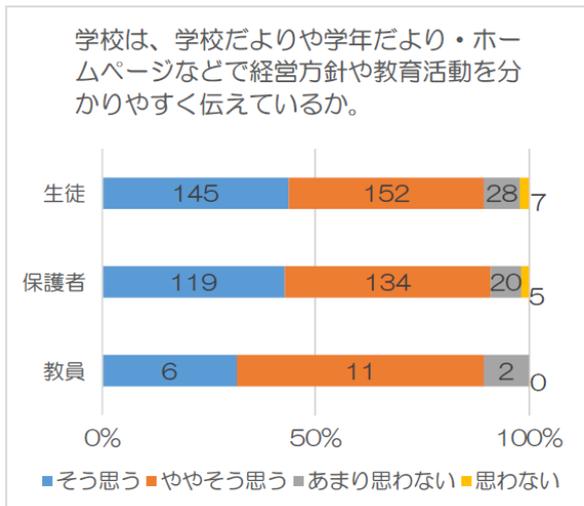
【教育相談について】





教育相談については、特に「安心して登校できる」、「教職員は親身になって接している」という内容で約9割の肯定的回答いただきました。一方で、「学校に行くことを楽しいと感じている」、「学校は、困ったときに安心して相談できる場所となっている」という問いに対して、2割弱の生徒が否定的な回答をしています。今後も、学校生活に不安のある生徒が2割弱いるということを前提に、学校が全ての生徒や保護者の方々にとって安心できる場所となるように、教職員の協力体制を一層強化していきます。

【学校運営について】



学校運営については、学校からの情報発信、保護者等との連携の項目とも、約9割の肯定的な回答をいただきました。今後も、学校HP、sigfyをはじめ、学校・学年だより等様々な場面を活用して、教育活動や健康・安全等に関する学校からの情報発信を迅速かつ継続的に行います。そして、情報発信に基づく、双方向の関係性の構築を一層重視していきます。学校運営に関してご不明な点がありましたら、各学年、副校長などを窓口として、お気軽にご相談ください。